

【リレートーク①】パネリスト：荒木 牧人氏

皆さんこんにちは。

お金のことなどの話は飛ばします。あとで、載せているメディアなど詳しく書いてあるのをご紹介しますので。

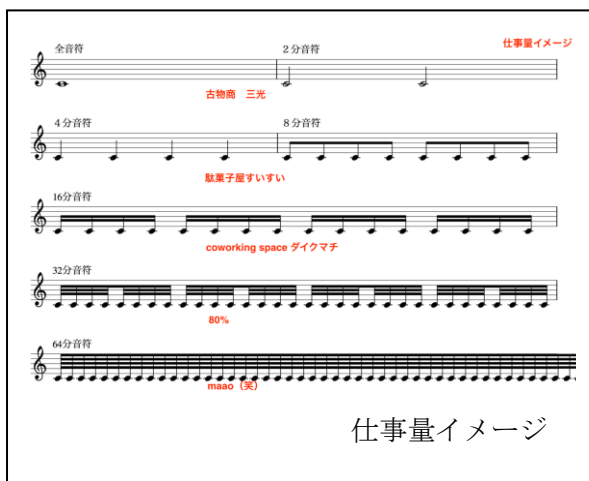
今の時代、一人ひとりの生きざまがよく見える時代だと思う。19歳の特攻隊員。この彼が国のために特攻隊に行くときに最後、もう内地では桜も咲いている頃と思います。桜のように潔く散りま

風景

- 1 目に映る広い範囲のながめ。
景色。風光。「山岳風景」
- 2 ある場面の情景・ありさま。
「ほほえましい親子の風景」
(デジタル大辞林より)

の人生の最期に見たい風景できます。風景の定義はこの景色。風って見えないが、ます。風景って風なのかなと今と、普遍的なところっ観違ってるよなとか、僕自

身どうやって生きていきたいのかいくのかなって思っています。与え
違うと思うけど、どのように生きていくのか。僕はやりたい方向性がそのまま仕事化して行ってる
ような状態です。今、5つの仕事をしています。でも多ければいいということでもない。全部つな
がっている感じです。やっていくなかで必然と増えていった感じ。一番初めはマーオという建築の
設計事務所からはじまり、2、3、4、5という形で今に至ったという感じです。形態はいかようでも
よいかなと思っている。量のイメージをするとこんな感じですね(笑)。



駄菓子屋すいすいを週に1回やってるんですけども
大体リズムがあって、ダイクマチも大体仲間が集まっ
て、一番下のは必死です。これがね…人生こんなになっ
てるんですよ。(大笑) ラ・カンパネラという名曲を奏
でちゃってる。超絶技法ですばらしいんですけど、日常
こんな感じです。でも、でも素晴らしい曲だ。そんな形
で生きています。

高校1年生の時、バングラディッシュっていう国の
ある建物に興味をもって建築に入った。大学を卒業し
て、ゼネコンといわれるところに10年、その後設計事
務所で6年ほど勉強させていただいて、2013年の4月

に独立し、自宅2階の8畳の一室で設計事務所を始めました。普段は、保育園であったり放課後デ
イであったり住宅であったりっていうのを設計して、作る時にはチェックマンとして管理していま
す。これ最近見る方も出てきたかもしれないですけど温度サーモグラフィ。温かいところが赤くて、
冷たいところが青い。これ、昨日行った住宅なんですけど、真ん中2.3度って書いてあります。室
内2.3度…冷蔵庫です。こういう住宅結構多いです。エアコンつけないとどんどん寒くなっていっ
てしまう住宅の断熱改修だったり、断熱DIY改修。自分たちで手を動かして、設計士とかそういう
のは関係なくて自分たちで作っていこうといったことをやったりしています。ぜひ温度に注目して
いただきたいのですが、和室の畳をはいで荒板っていう板を引いている状態の温度です。冬
でしたが4.2度でした。これにたかだか4ミリの薄い断熱材を引いて、機密シートというシート引
いて畳を戻しただけで8.5度上昇した。意外と簡単にできるんです。カッターだけ、テープだけで
できるんですけど、こいうことをやったりして住宅の環境を改善したりしています。それで、建築
基準法の第1条、一番最初に書いてあるんです。生命と健康を保護する。「守るよ、建築っていう

ものは」って言ってるんですけど、ぶっちゃけ全然守ってないじゃんとかね。どの家もかなりの割合で、今寒い家というものができてしまっているのが現状です。おかしいなと僕自身は思っていて、一地方建築士として僕ができることは何だろうということで、先ほどのような工作レベルでできるようなことをやっていて、みんな健康に育ててほしいな。自分でもできるよねっていうことをやったりもしています。と同時に、開業した直後の同じ年に自治会長になったんです。自治会長なんて何も知らなくて、「何それ？」って。でも皆手を挙げないから、「では僕がやりましょう。」で拍手喝采となったんです。わかんないんです自治会長って。全然自治会活動には参加してなかったんで、突然なりました。でも今考えれば、1年の任期でしたが、会長の時代がなければ僕の今の動きはないなと思っています。会長になると、『何とか委員会』とか6個くらいの役職が充て職になっていて、まあ開業したばかりで仕事はなかったんですけど自治会の活動がほとんどになってしまったんで、そこはお金を生み出さない。失礼ですかね。お金を生み出さない、ギリ貧生活ですよ。夜中アルバイトとかしてましたよ。そのうち追いつかなくなってきた。そのフラストレーションがたまってきた時、ちょうど1年の半分位の時に、このコンペがあったんです。「空き家問題を解決せよ。」自治会活動でフラストレーションがたまっていた僕に全くもってこいの課題です。「よし、じゃ自治会長と空き家をかけ合わせてしまえ！」ということでアイデアを出したら、それで賞をいただいた。それを通じて空き家問題に少し目が行ったと同時にイノベーションという言葉は僕は初めて知った。イノベーションって何だろうということで、そこで審査委員長だった竹内さんとの繋がりや、こういう活動があるよと全国いろいろなところでやっているイノベーションスクールという3日間や4日間である空き家や空き公園など、いろいろな所でこういったことを考えたらどうかなと考えて、最後の日にオーナーさんの前でプレゼンして、OKってなったら、そのまま会社化、実業化して、ホントにリアルに進んでいく実践の場に全国各地で参加していきました。清水さんという方が、「敷地に価値なし、エリアに価値あり」と言っているんですね。「ひとつの建物だけ価値あげても、今の時代あまり意味がない。エリア全体で豊かになったりいろいろなことになっていった方がいいよ。」ということをお話している。それで、イノベーションスクールから戻ってきたときに、僕は川越の人間なんですけど、川越を見たら、何もなってないじゃんという事実気づいた。丁度その頃、馬場さんというリノベーションなどで大活躍している方が来てくれた。あれ、何か起こっているなと思ったら、川越で『まちづくりキャンプ』という、さっきのリノベーションスクールと同じようなイベントがあり、そこに参加して生まれたのが、(株)80%という会社。4人で立ち上げました。「80%ってどういう意味ですか」って聞かれるんですけど、特に赤い字のところ力の入れ具合を80%で。100%金か銀か…、無農薬かそうじゃないかとか、結構全力で頑張ってきた時代なんですけど、ちょっと2割力を減らしたほうが、成熟した今の日本においてはより能力を高く享受できる。一緒に会話しながらできていくんじゃないかということに重きをおいて社名にしました。それ

<80% コンセプト>

たくさんの方が一生懸命に大切に作ってきた街

その街を今のペースで 今の世界で

少し力を抜いて楽しくできないか **力の入れ具合を「80%」で**

少し「力を抜くこと」で見えてくる新しい世界

拒否しあったり コミュニケーションが取れなかったり ではなく

少し引いて 享受し 理解し合う世界

衰退する社会 悲観的にこのことを捉えるのではなく

むしろ成熟期を迎えた日本における豊かな生活の一提案として

今の日本だからこそ

今の川越だからこそ

僕らなりにできる動きを

その場所に「80%」のメッセージを掲げよう

**僕らは
自分たちで出資し合って
50万円で設立した会社**

普通預金				
年月日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
1 28-11-28	繰越 会員			¥2,263*
2 D28-11-28	手数料	324		¥1,939*
3 28-12-14	AD031		60,000	¥61,939*
4 28-12-14	AD031		200,000	¥261,939*
5 28-12-14	AD031		200,000	¥461,939*
6 28-12-14	AD031		100,000	¥561,939*
7				
8				
9				

ぞれ僕 10 万、僕 20 万みたいな形で 4 人で 50 万円出し合って、これ僕の通帳です(笑)。出し合って会社立ち上げると分かるんですけど、半分の 25 万くらいすぐ飛んでいっちゃうんですけど 50 万円で作った会社です。補助金、助成金に頼らないということで活動しています。頼ってしまうと、毎年それをもらうがためにいろいろな活動をするに陥ってしまうので。4 人仲いいです。僕最年少なんですけど、僕から階段状に 40 歳のおっさんたちが並んでいます。不動産、デザイン、

飲食、設計というそれぞれ職場が違って、仲良く、喧嘩もしながらやっている。今 2 年くらい。2 つの事業、さらに 2~3 の事業が動いている。こういった会社を通称家を守ると書いて「ヤモリ会社」という言い方をしますが、特徴としては事業の展開がすごく早い。4 か月位で空き家だった所を自分たちで DIY とかしてオープンさせていくんですが、責任という形がこの 4 人だと明確です。回収期間は 5 年以内。20 年とか 30 年とかそういうのじゃなく、なるべく早く回収する。それから地域の課題を見ながら、今回はこの課題に対して提案を打とうみたいなことをやっています。それが生まれたことによって周りにいろいろな効果が表れてくるっていう内容です。当然、民間ですのでがっつり納税します。ちゃんと納税し、出た利益は次の地域に再投資していくっていう動きです。動きながら見えてくる世界があると思います。いい本これ木下さんの本ですけど 小説チックですがお勧めの本で日いらしてる鈴木美央さんの本です。「よくぞ出してくれました。実践が書かれていて、この通りにやっているとマーケという 1 冊になっています。さっきサインをいただきました。うございます。(笑)。川越は南北 13 キロ、東西で 15 キロ。や観光協会があったりするんですが、僕たちはそのど真ん中僕自身は南古谷。そこから 5.5 キロほど離れた田園地帯に住



が出ています。それから、今た！」という本ツトができるっサインありがと真ん中に市役所でやっています。僕

たちの展開というのは、ヒエラルキー(階層・階級)は上下関係じゃなくて、みんな作る人も、オーナーさんも、職人さんも、地域の人、子どもたちも皆で場を作っていくっていうことをやっています。鈴乃屋の店長だったり、市の産業振興課の職員さんだったり、みんなこうやって手伝ってくれるんですね。誰が、どこでじゃなくて、職人さんじゃなきゃできない屋根の上の瓦、これを素

人がやると、落ちちゃったり、穴が開いたり大変です。こういうのはプロに任せること。ではなくて、剥いたり、解体すること。これは子どもたちでもできるよね。じゃぜひ参加してもらおうという形で、できることできないことを見極めながらやっています。その作っていく過程…普通の工事現場は仮囲いをして何も見えなくなって、さあお披露目で退けたら完成していた。これが普通だと思



毎週1回 80%定例会で「すずのや」は売上報告 すずのやは80%直営じゃないが、状況把握することで、80%としても課題が浮き出て、様々な対策・分析が可能

2018年12月 : 来客平均 29.7人/日
売上 2,572,084 円

2018年10月 : 来客平均 23.2人/日
来客 581名/月
客単価 3,795円/人・日
売上 2,205,320 円

2018年 8月 : 来客平均 17.5人/日
来客 477名/月
客単価 3,473円/人・日
売上 1,656,390 円

2017年 9月 : 来客数 525名/月

いますが、そうではなくて作っていく段階からお見せして、協力してもらって、一緒にやっ
ていこうよという形で作っていく最中でワーク
ショップをたくさんやりました。塗装だ
ったり解体だったりベンチを作りますなど
いろいろなワークショップをやっていきま
した。たくさんの人に関わっていただいて、
こういったレポートを紙媒体で作って工事
の軒先に置いたりして約4か月かけて、皆で
で築き上げた場所。長屋ですね。木造の昭和
36年にできた長屋を再生しました。できた一
角に鈴乃屋という 80%のメンバーなんだけ
ど、個人事業主の鈴乃屋というお店ができた
んです。週に1回の定例会の中でその鈴乃屋
の売り上げなどのデータをあげてもらって、
こんなことが起きているということに対し
てみんなでシェアする。そして対策を練って

いく。「火曜日と木曜日が売り上げ少ないね。じゃこういうイベントやっ
ていこうか」。そういう会話を
もって進んでいく。このメディア媒体が一番詳しく書いている。さ
っきのお金のこととかも詳しく書いてあるので是非ご覧いただけ
れば。2つ目がコアワーキングスペースダイクマチです。1個
目の長屋はそういう風に再生したんですけども、これが5年回収
というスキーム（計画・企画）を組んだので、5年待つのはき
ついですね。もうちょっと早まらないかなということで、その
隣に同じような長屋があって、そっちにお金も残り少ないけど
どうしようかという選択肢でいろいろ考えていって行き着いた
のがコアワーキングスペースです。みんなで働く場です。電
源とWi-Fiがあればできるという形です。経緯・プロセスも
またブログで発信しながらやってきました。やはり4か月
くらいかかって再生しました。今1デスク月8千円で、24時
間365日いつでも使って下さい、いつでも入れますよと。
昼間班と夜班と深夜班と、3つに分かれているんです。僕
早朝班ですけど、みんなそんな感じでみんな自由に働く場
ができました。スキームはやっぱりオーナーさんから一棟
の1画を同じ4万円で借りて、それをみんなで払っていく。
これがだいたい2年で回収できるという形で、2年たつと、
この250万かけたお金がプラスに転じて収入になっていく
という、そういうスキームを組んでいます。

バシッと切った感じが
こういう状態です。1階が
こんな感じで2階に建設
会社の支店と僕の設計事
務所があるっていう形に
なっています。作ったとき
からメンバーさんには忌
憚のないメッセージをい
たきたいということで、
気に入ったことを全部交
換日記みたいにしていま
す。内に閉ざされ過ぎな
ようにトークイベントを
やったりしています。今
15名の方が集まってく
れいますが、15名同士
で自主的にいろんなイ
ベントを回しているよ
うな状況です。是非川
越にいらっしゃいまし
たら遊びにきてくださ
い。最後、去年の3月
僕の住んでいる5.5キ
ロ先に駄菓子屋が1件
だけあったんですけど
つぶれてしまいました。
このように1階の部分
を使ってやっている



新たなコンテンツメイキングに



駄菓子屋だったのですが、子どもたちのこういった場所がなくなっちゃたんですね。子どもたちがお小遣いを使う場所がなくなってしまった。僕自身 PTA 会長とかもやってたんですけど、それでも気軽に話しかけると不審者扱いされる。下手すると、メールで南古谷で 40 歳らしき男が…わかっている人もいるんだけどメールが来ちゃう。そういう世界です今。なんとか気軽に話せる方法ないかな。見守りにもなるし…で駄菓子屋っていう

と。それでたまた自転車との出会いがあって。よしこれで駄菓子屋をやる子どもがいるんですけど、一番下の子が 1 年生だったので、年生になるまで、6 年間の活動としてやってみようとい月末にスタートさせました。水辺でやったり、公園の前マンションの前でやったり週に 1 回のペースで駄菓子を



のは必要だまこの 3 輪うと。4 人子この子が 6 うことで 5 でやったり、売っていまいで。駄のを 5 千円

回	売上	利益	日程	備考
1	2,900	▲ 3,115	5/31(木)	
2	7,320	▲ 875	6/5(火)	
3	380	—	6/12(火)	雨中止
4	10,220	4,220	6/30(土)	
5	7,380	1,780	7/7(土)	
6	5,120	▲ 2,498	7/12(木)	
7	2,530	▲ 3,470	7/27(金)	
8	2,010	▲ 990	8/3(金)	
9	3,700	3,700	8/9(木)	
10	3,120	▲ 778	8/21(火)	
11	8,440	▲ 2,072	8/26(日)	
12	6,260	1,886	9/3(月)	サントレ
13	2,320	▲ 4,179	9/13(木)	
14	2,450	▲ 3,050	9/27(木)	
15	8,640	8	10/1(月)	サントレ
16	5,290	▲ 2,410	10/9(火)	
17	8,790	4	10/18(木)	
18	4,530	▲ 1,416	10/23(火)	
19	4,500	▲ 243	11/1(木)	
20	10,420	3,124	11/5(月)	サントレ
21	7,080	1,734	11/15(木)	
22	7,000	2,145	11/20(火)	アンケート
23	8,710	▲ 1,372	11/25(日)	ウエスタ
24	7,810	4,310	11/27(火)	
25	4,300	▲ 4,616	12/1(土)	バイクア
26	8,690	1,172	12/3(月)	サントレ
27	1,790	▲ 6,322	12/11(火)	
28	4,070	25	12/20(木)	
29	1,780	▲ 6,877	12/27(木)	
30	2,820	▲ 3,266	1/7(月)	サントレ
31	7,780	3,892	1/15(火)	
32	2,200	▲ 2,800	1/21(月)	
33	3,647	3,544	1/31(木)	アンケート
34	6,670	2,109	2/4(月)	サントレ・アンケート
35	8,660	183	2/14(木)	ハレンタイン
36	0	0	2/19(火)	雨中止

16勝18敗

でも子どもたちは本当に楽しみに待っていてくれる。先週は雨で中止になってしまいました。雨だったら中止だよって伝えていても、もしかしたら来てるかもしれないと 10 人くらい集まってくるんですね。こっちは感動と申し訳ない気持ちとで泣きなくなっちゃう。6 年という期間、せっかくならプラスにして何かちゃんとストーリー立ててやっていきたい。今いろんなことが起こってますけど、これを小話としてブログにアップして行って、最後に本にして販売して、それで得た収益で地域の空き家の 1 つが、それも皆でやりたいんですけど、DIY でみんなでコツコツ作って、空き家が駄菓子屋になりましたっていうストーリーを目指して活動をしています。スタートの時 6 歳・12 歳だった子どもたちの成長は早いです。今はそういったことで±0 であるかもしれないけれども、この子どもたちに残ったものはプライスレスだと思います。見方を変えることで広がる風景がたくさんあると思っています。よ〜く、よ〜く、よ〜く、よ〜く見ると面白いことがあるな。世界が、世の中が、ころころ転がっていきます。ドキドキよりもわくわく。生きざまがよく見えてきたりして、私も楽しもうと思います。ありがとうございました。